

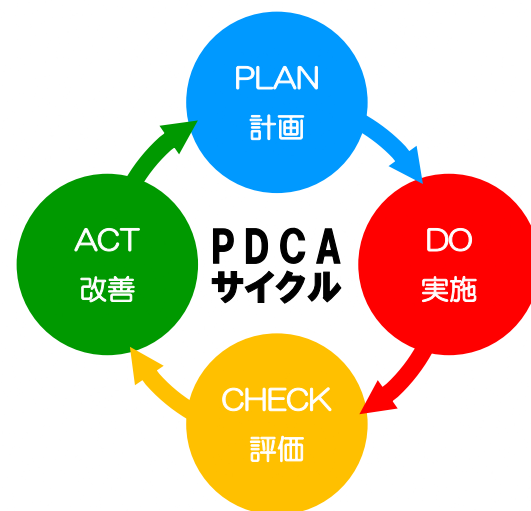
6. バリアフリー基本構想の推進にあたって

バリアフリー基本構想の実現には事業の進捗状況の把握や実施した事業の強化を行い、その結果を関係者が共有し、次のステップに進めていくことが必要となります。

このため、バリアフリー基本構想の推進施策として、次の取組みを行います。

<バリアフリー基本構想の推進施策>

- ・施設設置管理者・行政・市民の協力による施策の推進
- ・「精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想庁内検討会」におけるバリアフリー基本構想の進捗状況についての報告、評価、事後点検等の実施
- ・計画（PLAN）、実施（DO）、評価（CHECK）、改善（ACT）のいわゆる PDCA サイクルに基づく、段階的・継続的な改善の実施



精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想
【近鉄山田川駅周辺地区 概要版】
令和3年3月発行

編集・発行：精華町事業部都市整備課

住所：京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電話：0774-95-1902

FAX：0774-95-3973

E-mail: toshi@town.seika.lg.jp

精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想

【近鉄山田川駅周辺地区】

= 概要版 =



令和3年3月



精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想【全体構想】

1. バリアフリー基本構想の位置づけ

本基本構想は、改正されたバリアフリー法による移動等の円滑化の促進に関する基本方針に基づくとともに、精華町の「精華町第5次総合計画」や「精華町都市計画マスタープラン」における道路・公共交通・バリアフリー関連の方針、および「第3次精華町地域福祉計画」をはじめとする福祉に関連する計画等と整合を図り策定したものです。

なお、基本構想の策定にあたっては、「精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想連絡調整協議会」および「精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想庁内検討会」を設置し、検討を行っています。

2. 全体構想の概要

- バリアフリーの目標

人を大切にする精華町総合計画のまちづくりの理念や、第3次精華町地域福祉計画の基本理念を踏まえ、面的・一体的なバリアフリー化を推進するための目標を次のように設定します。
- 人を大切にして 誰もが出かけやすいまちを みんなでつくる 精華町
- バリアフリーの基本方針

目標を実現していくため、次の3つの基本方針を定めます。

【基本方針1】 誰もが安心して利用できる鉄道駅のバリアフリー化を推進します。

・精華町民や精華町を訪れる人々の移動の中心となる鉄道各駅でのバリアフリー化の充実を図るとともに、案内サイン誘導とも連動し、誰もが安心して移動できるまちづくりを推進します。

【基本方針2】 高齢者・障害者などに配慮した人にやさしい移動環境の形成を推進します。

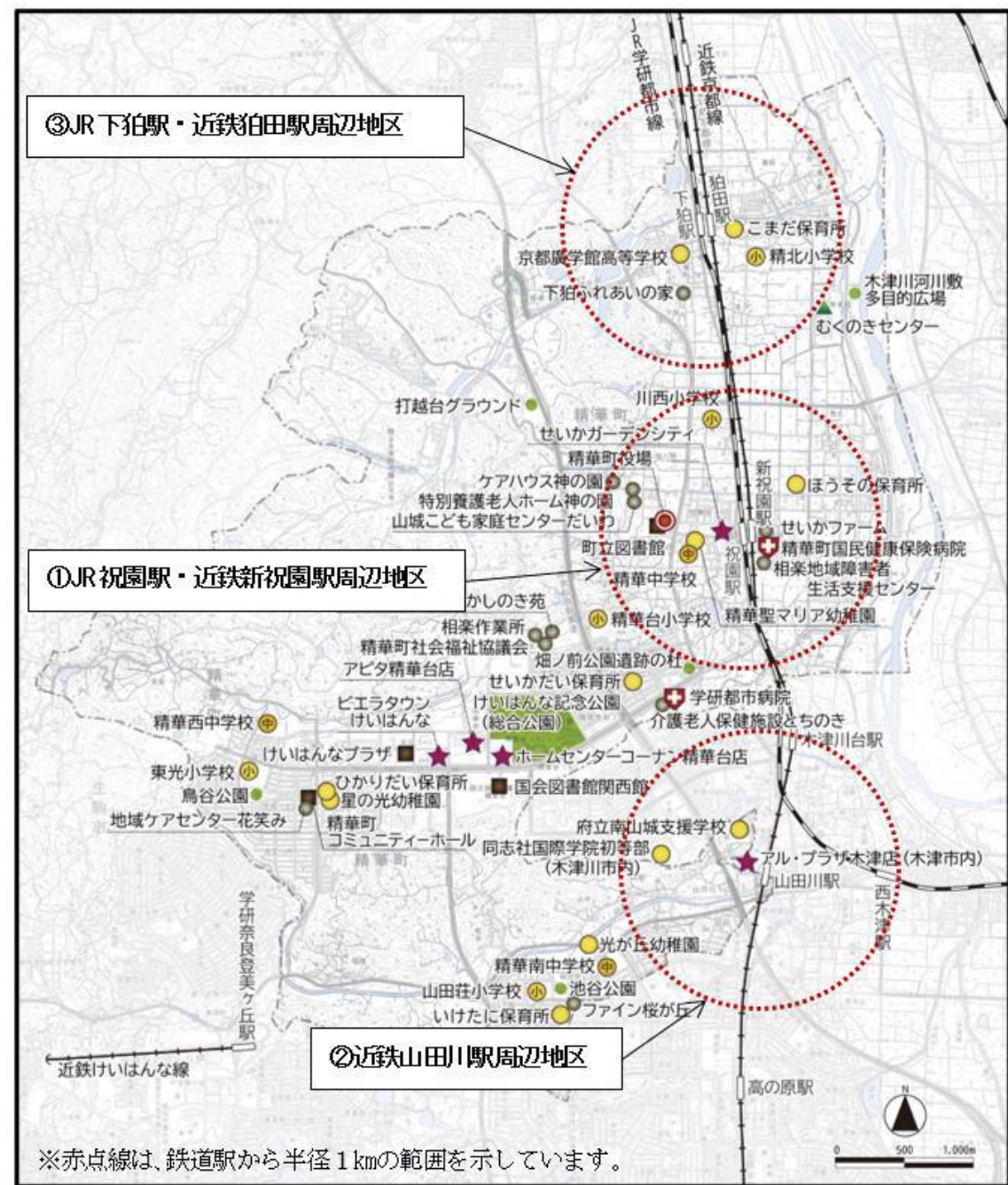
・歩道の設置、段差の解消、使いやすいバス停など、高齢者・障害者などに配慮した人にやさしい移動環境の形成を面的・一体的に推進します。

【基本方針3】 「我が事」の支えあいのきずなが実感できる「心のバリアフリー」を推進します。

・施設整備（ハード面）だけでなく、高齢者や障害者等の困難を「我が事」として捉え、やさしさや思いやりを持って、積極的に協力するソフトな「心のバリアフリー」を町民みんなで推進します。

3. 重点整備地区の設定

精華町内の主な生活関連施設の立地状況を踏まえると、重点整備地区の要件を満たす候補地区としては、JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区、近鉄山田川駅周辺地区、JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区の3地区があげられます。これらの3地区を重点整備地区に設定し、順次、バリアフリー化事業を推進していくこととします。なお、具体的な重点整備地区の範囲については、各地区の基本構想策定に合わせて設定します。



重点整備地区のバリアフリー基本構想の策定予定	
策定予定年度	重点整備地区名称
令和元年度	JR 祝園駅・近鉄新祝園駅周辺地区バリアフリー基本構想
令和2年度	近鉄山田川駅周辺地区バリアフリー基本構想
令和4年度(予定)	JR 下粕駅・近鉄粕田駅周辺地区バリアフリー基本構想

近鉄山田川駅周辺地区バリアフリー基本構想

4. 地区の現状

■ 近鉄山田川駅

近鉄山田川駅は、2面2線のホームを持つ地上駅で、駅西側の2番ホームに駅舎があり、反対側の1番ホームへは構内踏切を利用して渡る構造となっています。

■ 主な生活関連施設

近鉄山田川駅周辺地区には、木津川市内のアル・プラザ木津店、ウエルシア木津川山田川駅前店や、精華町内の駅前には山田荘郵便局や下里医院、喜田歯科が立地しています。

このほか、教育施設としては、駅北側に府立南山城支援学校、駅からは距離が離れますが、精華南中学校、山田荘小学校が立地しています。また、木津川市内には同志社国際学院初等部が立地しています。

■ 地区内における主な課題

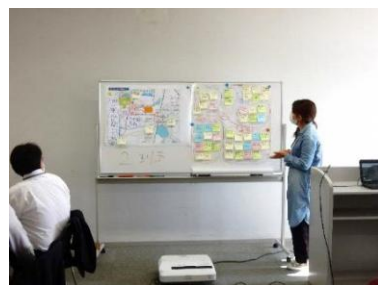
課題を把握するため、タウンウォッチングを午前の部と午後の部に分かれて実施し、鉄道駅や道路などで問題箇所や改善箇所がないかのチェックを行いました。さらに、ワークショップにおいて各班で意見交換を行いながら、駅舎や道路等の問題点や課題を抽出しました。

【タウンウォッチング概要】

実施日：令和2年11月19日（木）

9:30～12:00 13:30～16:00

参加者：25名（精華町鉄道駅等バリアフリー基本構想連絡調整協議会、地域住民、障害者の方、その他関係者、事務局等）



■ 道路

【駅前広場前交差点】

- 交通量が多く、歩くのが怖い。交差点の見通しが悪い（アル・プラザ南側）。
- 交差点の滞留スペースが狭く急こう配である。
- 南西信号間の点字ブロックがない。

【駅前広場前交差点の信号状況】

- 音響式信号機は、どの方向が鳴っているのかわからない。

【八幡木津線の歩道】

- U字形のバリアが多すぎて邪魔。
- 歩道の高さがそろっていない。傾斜が多く、でこぼこも多い。
- 横断歩道手前にだけ点字ブロックがない。
- 歩道の柵がもう少し欲しい（アル・プラザ付近）。
- 歩道のグレーチング（溝）の穴大きい。
- 道路上の植栽により、幅員が狭くなっている。

【八幡木津線の道路標示】

- 横断歩道が消えている。
- 歩道から横断歩道への高低差が大きい。
- 横断歩道にマンホールがあり、段が付き、すべる。
- 横断歩道のグレーチングの隙間が広く、白杖が入る。

【郵便局付近】

- 郵便局南側の道路に歩道がない。
- 信号手前の歩道の傾斜が急で危ない。
- 信号は音響式信号機でない。

【踏切付近】

- 踏切に歩道が欲しい。
- 踏切のたまりがない。
- 踏切を渡る道がとても狭く、危険を感じる。

【その他】

- アル・プラザの入口が音でわかるようにするとよい。
- 公衆トイレは、駅構内にしかない。
- 外国語の案内板がない。

■ 駅前広場

◆ 点字ブロック

- バス停まで点字ブロックが一部ないところがある。
- 点字ブロックがアル・プラザまで続いていない。
- 点字ブロックが色あせしており、弱視の人には見づらく危険。
- 点字ブロックが一部曲がっていてわかりにくい。
- ホームと駅前広場の点字ブロックの提示サインが異なる。

◆ 段差等

- 歩道のいたるところに小さな段差がある。

＜タウンウォッチング調査結果の概要＞

■ まちのキャッチフレーズ提案

- 思いやり、あたたかさ。安心して暮らせる。利用しやすい、優しい。にぎやかな、つながる施設
- 東西に開いた駅前、交流。ひらけた街。にぎやかな駅前。暮らしやすい街
- 安心な安全な、移動しやすい、わかりやすいまち
- 未来にひらけたコンパクトで便利なまち



■ 近鉄山田川駅

◆ ホームの安全性

【ホームの構造等】

- ホーム幅が狭く、傾斜もきつい。ホーム上の鉄柱が危ない。
- 舗装に陥没や波打っている箇所があり危ない。
- 奈良方面ホームの線路側の転落防止柵が低い。

【案内誘導】

- 点字ブロック、クランクがわかりにくい。点字ブロックに内方線がない。自販機への点字ブロックによる誘導がない。
- 待合室への誘導がない。

【その他の設備等】

- ホームのイスの方向を変えれば安全になる。
- 駅、待合室に防犯カメラが欲しい。
- 非常通報ボタンの位置が高く、車いす等では押しにくい。
- 自販機のコイン投入口が高く車いすでは使いにくい（京都行ホーム）。

◆ 構内移動ルート

【スロープ】

- 傾斜がきつくて車いすの移動が困難。
- 舗装が悪い。手すりがない。
- 構内のすべり止めが、とぎれとぎれになっている。

【構内踏切】

- ベビーカーや車いすは、脱輪しそうで危険。
- ブザーのみで音声案内がない。電光掲示も欲しい。
- 電車の通過・到着が目で見えるようにしてほしい。

【その他】

- 多言語表記ほとんどなし。
- 運行情報、多言語の案内、下すぎで見えづらい。

◆ トイレ

- トイレが京都行ホームにしかない。
- 多機能トイレがない。おむつ交換スペースがない。トイレが狭い。水道も手狭。子供載せイスが欲しい。
- 男子トイレが和式のため身体的ハンディのある人は使いにくい。
- トイレ内に点字ブロックがない。
- 「ここはトイレです」の音声がない。

◆ 改札口（券売機など）

- きつぱうりば窓口やインターホンまで点字ブロックがつながっていない。
- 券売機の高さが高く、車いすでは切符を買いにくい。
- 車いすから切符の画面が見えない。券売機に点字の説明が少ない。
- 乗り越し精算機も車いすでは使用しにくい。
- 改札、ひらがなの運賃表の文字が小さい。
- 駅の東側にも改札口が欲しい。

◆ バス停

【構造】

- バスが離れて停車すると乗りづらい。
- 乗り場の段差が大きいので、車いすでは乗車しにくい。

【点字ブロック】

- 乗車場所まで点字ブロックが設置されていない箇所がある。
- 上屋の外側に点字ブロックが設置されている（雨天時に困る）。

【案内誘導】

- 電光掲示板、音声誘導が欲しい。点字の時刻表が欲しい。
- バス運行系統図の文字が小さい。

5. 重点整備地区の設定とバリアフリー化事業計画

■ 重点整備地区の設定

近鉄山田川駅周辺地区の重点整備地区の境界を設定しました。

なお、重点整備地区内には、木津川市域も含まれています。

- ＜ソフト施策（心のバリアフリーの推進）によるバリアフリー化への取り組み＞
- 小学校でのバリアフリー教室の実施。
 - 広く一般にバリアフリー化状況を周知するためのバリアフリーマップの作成、施設管理者によるバリアフリー情報の提供。
 - 放置自転車対策や安全な歩行空間を阻害する行為等に対するマナーの向上の啓発・広報活動、および、放置自転車の撤去や取締りの実施。
 - 通路幅員の確保、段差の解消、点字ブロックの設置などによる工事中のバリアフリーの実施。

■ バリアフリー化事業計画について

近鉄山田川駅周辺地区におけるバリアフリー化を推進するため、タウンウォッチング等から得られたバリアフリー上の問題点を踏まえ、各施設の管理者が今後実施していくバリアフリー化事業計画の概要を定めます。

整備目標年度は、令和3～令和6年度を短期、令和7年度以降を中長期として、関係機関等と連携しながら計画的にバリアフリー化事業に取り組みます。

R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
← 短期 →				← 中長期 →					

